



# 秋。クマから身を守る基本



実りの秋、食欲の秋…。クマは、冬眠を前に餌を求めて活発に活動します。県内の山はクマの生息地ですから、どこの山でもクマと出遭う可能性があります。クマによる人身被害を防ぐには、「クマと遭わない」「クマを引き寄せない」ことです。それでも出遭ってしまったら、「興奮しない、させない」ことです。

## クマと遭わないために

- ◆秋、クマの餌になる実がなるところには行かない！  
ブナやクルミ、クリ、ミズナラの林。さらにヤマブドウ、カキの実がなっているところも注意が必要です。
- ◆頻繁に物音や声を出して歩く！  
鈴、笛、ラジオなどを鳴らすか、大きめの声で話しながら歩く。
- ◆林際、川沿い、山林から近い集落では、早朝、夕方、夜間の散歩やジョキングは控える！
- ◆視界の悪いとき、見通しの悪い場所には立入らない！  
早朝、夕方、霧などで視界の悪いときや、日中でも見通しの悪い林には行かない。
- ◆クマを追い払ってから外出する！  
家の周りにクマがいる場合があるので、家から外に出るときは、笛・大声・ラジオ・爆竹などでクマを追い払ってから戸外に出るようにする。

## クマを引き寄せていませんか？

- ◆ゴミ捨て、食べ物の持込みは厳禁！  
人家のまわりに生ゴミなどを捨てたり、置いたりしない。墓の供物は持ち帰る。
- ◆ハチの巣や、カキ、クリ、ドングリ、クルミ、ギンナンなどは注意！  
ハチの巣を放置しない。収穫予定のないカキ、クリなどは早めに撤去する。

## それでも、クマに遭ってしまったら

- ◆とにかく落ち着く！  
騒がず、走らず、ゆっくり後退する。子グマであっても絶対近づかない。
- ◆攻撃が避けられないときは急所を守る！  
地面に伏せ、両手で首の後ろをガードして頭と首を守る。